

年間第五主日

福音朗読 ルカ 5・1-11

2022.2.6

カトリック高円寺教会

ジョン・ジュン神父（クラレチアン宣教会）

人は生まれたときから使命を持っています。この使命は、わたしたちが成長するように導いてくれます。

神様に会えると、わたしたちは更に、人生の目標がはっきり見えるようになります。

今日はゲネサレト湖畔の話になります。イエス様が船の上で行った奇跡の話をします。船はわたしたちの団体を代表しています。イエス様と共に船に乗っている人たちは、完璧な人間ではありません。聖なる者は神様だけです。

福音を宣べ伝えるのに一番重要なのは、行動することです。“沖に漕ぎ出して網を降ろし”とは、神様の言葉を聞き、これから全世界に宣べ伝えましょう、という意味です。

シモン・ペトロは経験のある漁師ですが、網を何回投げても、魚を捕らえることができませんでした。しかし、イエス様の言葉に従って網を投げると、驚くべきことにおびただしい魚がとれました。

ペトロは“主よ、わたしから離れてください”と言います。自分が罪人であり、神様の近くにいることが恥ずかしいと思ったからです。

しかし、神様はわたしたちのそばにいたいのです。

わたしたちの身分や地位、年齢、皮膚の色、外面は関係ありません。だから、心配しないでください。わたしたちは選ばれた者、宣教するために派遣されています。

今日は二つのポイントがあります。

一つは、召命です。神様の言葉を聞いて宣べ伝えることです。

もう一つは、神様とわたしたちの間には距離がありません、いつも、そばにいてくださっているということです。

そして、今ここで、高円寺教会の皆さんと一緒に、わたしたちの信仰が強められますように、神様に信頼を持って祈りましょう。